

こうのとり通信

～兵庫県助産師会だより～

一般社団法人 兵庫県助産師会
第3号(15) 平成25年8月1日発行
(発行部数500部)

発行責任者 岡田 浩子
編集責任者 赤川 由美
神戸市中央区花隈町9-25
グラン・ピア下山手通003
TEL: 078-362-1310
FAX: 078-362-2737
<http://hyogo-josanshikai.com/>

ごあいさつ

一般社団法人 兵庫県助産師会
会長 岡田浩子

残暑厳しき折、会員の皆様にはご元気で過ごしのこととお慶び申し上げます。

5月18日に平成25年度一般社団法人兵庫県助産師会定時総会が開かれました。(P3に関連記事あり)総会冊子にて通知をいたしておりました報告及び審議事項について、会員の皆様のご協力により審議が承認されました。本当に感謝申し上げます。

平成25年度の活動がスタートいたしました。会員の皆様のご協力、ご支援をいただきながら、会の発展に向けて(会員数の増加、研修の充実、会員相互の連携)全員で頑張っていけたらと思いますのでよろしく願いいたします。

5月23日からの3日間、徳島県にて公益社団法人日本助産師会25年度通常総会が開かれました。兵庫県助産師会から代議員4名、一般会員3名、理事及び顧問3名、部会長1名、日本助産師会役員及び委員2名の計13名が出席いたしました。

全国から370名の会員が参加され、その席で兵庫県助産師会の川口芳子顧問が名誉会員として承認されました。また石村朱美助産所部会長が会長表彰を受けられましたのでご報告いたします。本当におめでとうございます。

皆様、ご多忙のこととお察ししますが、お体をご自愛くださいまして、それぞれの場所でご活躍いただきますよう祈念申し上げます。



兵庫県助産師会からのお知らせ

●文化祭：11月3日(祝)●

毎年恒例の文化祭が今年も開催予定です。叙勲・各賞受賞者の披露、会員による演目(歌や踊り)などを企画中です。

会員相互の親睦を深めるよい機会ですので、皆様のご参加をお待ちしています。

公社)日本助産師会通常総会報告

日時：平成 25 年 5 月 24 日（金）10：00～16：30

場所：あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）

この度、日本助産師会が公益法人となって初めての総会が徳島県で開催されました。兵庫県からは、日本助産師会名誉会員推薦の川口芳子顧問、代議員 4 名（岡田浩子、中井恭子、岡永真由美、小坂素子）の他 8 名が参加しました。

来賓に徳島県副知事、徳島市長、日本看護協会会長代理（福井トシ子氏）、徳島県医師会、徳島県産婦人科医会、徳島県看護協会の方々をお迎えして、物故会員の黙祷から始まりました。徳島県助産師会小島会長は「今回は阿波踊りにあやかり、テーマを『助産の新たな挑戦～実践への創造～“連”』とし、中国・四国が協力して準備してきました。徳島県には分娩を取り扱う助産所がなくなりましたが、地域に根ざした助産師の活動は継続実践していきます」とその思いを力強く話されました。

日本助産師会岡本会長および来賓の挨拶の後、40 名の会長表彰があり、兵庫県からは石村朱美さんが表彰されました。すくすく赤ちゃん献金では 3 団体に品物が贈呈されました。表彰式の後、代議員 122 名出席の確認のもと議長団 3 名、議事録署名人 2 名を選出し、総会開催となりました。

審議事項は 6 議案あり、すべて承認されました。1 号議案の名誉会員の推薦 4 名の内 1 名は川口芳子顧問が承認され、岡本会長から長年の功績に対して感謝の言葉と花束が贈呈されました。川口芳子顧問は今後の抱負を語られ、若者の良い刺激になったと思います。

役員選挙の結果は、会長：岡本喜代子（119 票）、副会長：島田真理恵（120 票）、山本詩子（122 票）、専務理事：葛西圭子（122 票）、総務理事：多賀佳子（120 票）、成田伸（67 票）、財務担当：安達久美子（120 票）、部会理事 3 名、地区理事 7 名が全員選任されました。毛利多恵子副会長は今年度退任され、今後、専門部会の助産所部会委員としてご活躍されます。

前日に開催された各専門部会集会は、兵庫県からも各部会員が参加し、各部会間との連携や現在の課題に対して積極的に話し合われたようです。勤務助産師部会での感想として、日本看護協会と情報交換や連携を行うとあったのですが、職能集団の規模や特徴を活かして活動目標を具体的にすると実現が可能となるのではないかと思います。

懇親会では、徳島県の方の肝いりで阿波踊りを全員で踊りました。いつまでも踊りが止むことはなく、まさに“連”笑いと共に気分がリフレッシュしました。頭を使った後の阿波踊りは心地よくお見事な企画でした。

平成 26 年度は福岡県で 5 月 22 日から 3 日間開催されます。沢山の会員の方のご出席をお願い致します。（文責 小坂素子）



平成 26 年度 日本助産師会 通常総会
テーマ：今が未来 ～つながるいのち ひと 組織～
日時：平成 26 年 5 月 22 日(木)～24 日(土)
会場：ホテル福岡ガーデンパレス 他

一社)兵庫県助産師会定時総会報告

平成 25 年 5 月 18 日 (土) に法人格取得第一回目となる平成 25 年度 一般社団法人 兵庫県助産師会定時総会が、兵庫県私学会館で開催された。定款第 17 条及び社員総会規程第 10 条により会員の過半数 (会員総数 345 名中、参加者 52 名、委任状 167 名、計 219 名) 以上の出席をもって総会の成立を宣言された。

総会に先だって挙行された開会式では、兵庫県健康福祉部健康局医務課長藪本訓弘様をはじめとする来賓の皆様にお祝いの言葉をいただいた。

総会では、平成 24 年度の事業報告・決算報告、平成 25 年度事業計画・予算の検討等 6 議案が承認された。第 5 号議案の事務所の登記 (名義変更) については理事会から購入経過等の説明があった。第 6 号議案の公社) 日本助産師会通常総会の審議事項 (機関紙「助産師」Vol. 67, No. 2 より) について、代議員候補者規程についての審議が活発に行われた。

ブロック集会では 10 ブロックに分かれて連絡会議を行い、専門部会集会では、助産所部会 15 名、保健指導部会 27 名、勤務助産師部会 15 名の参加を得て、今年度の活動などについて熱心な討議が行われた。

最後の挨拶で稲岡副会長は「一社) 兵庫県助産師会が二年生を迎えられた事が感激である。この 1 年間理事会が結束するとともに皆様のご理解とご協力をお願いしたい。」と祈願され、閉会となった。(文責 坂田富貴子)



平成 26 年度 兵庫県助産師会 定時総会

日時：平成 26 年 5 月 17 日 (土)

会場：未定

研修会のご案内

平成 25 年度、教育委員会では、事業計画目標の達成を目指し「助産師の実践力向上及び医療安全の確保」に関わる事業としてⅠ助産師のちからアップ研修 (11 研修) Ⅱ助産教育アドバンス研修 (3 研修) Ⅲ助産師特定研修 (3 研修) を企画しました。

3 月から広報活動を開始し、ホームページからの申し込みや実施後の報告をタイムリーに掲載する予定にしています。「助産師のちからアップ」研修は全コースと単発コースを計画しましたが、全コースを希望される方が 20 名を超え、キャンセル待ちの研修も出ています。参加予定の方からは「助産師のちからアップ研修が再開される日を待っていました」「今年の研修内容も楽しみです。仕事を調整して参加します」などの声を頂いています。

助産師の継続教育として、一貫した研修内容の提供を行い、仕事をしている場は違っても助産師仲間として情報を共有し、共に学び合える場を提供していきたいと思えます。

今年度の研修は 7 月 6 日からスタートしましたが、もうすでに「次年度はどんな研修がいいかな」とワクワクしています。皆様からのご意見をお待ちしております。(教育委員長 郷原寛子)

部会だより

〈助産所部会〉

部会長 石村朱美

今年度は医療連携の強化と他者評価による助産所の質の向上を目標に以下の内容について取り組んでいきます。

1. 安全対策委員会と協力関係を強化・維持し、助産所安全管理評価を実施します。
2. 分娩情報の IT 化が 4 月から始まっています。各助産所間の相互協力によりスムーズな運用を目指していきます。
3. 医療連携では姫路方面の嘱託病院の確保に取り組めます。毎年課題になってはいますが、良い結果が出ていません。会員の皆様の情報をお待ちしています。
4. 地域における新規開業者の支援のため、開業基準に沿ってのマニュアル整備をしていきます。
5. 教育に関しては「助産師のちからアップ研修」が復活しました。必要時、協力・参加し助産師力の向上に努めたいと思います。

〈保健指導部会〉

部会長 頓田真子

今年度部会目標：地域における育児支援技術・人材を具体的かつ実践可能にできるようにする。

〈部会企画の研修会〉

- 1 ベビーマッサージ講師育成研修 7月21日(日) ← 終了しました
- 2 即実践！乳幼児の姿勢と発達からみる観察ポイント 平成26年1月26日(日)

受講・予約していただきましたか？ 地域にいる助産師にとって役立つ講義です。多くの方の参加をお待ちしています。昨年企画した研修会「電話相談研修」と「新生児訪問研修」については、続けて欲しいという要望があり、今年度は部会内の研修で行う事にしています。

〈部会定例会〉

奇数月の第3土曜日 10:00 からの予定です。各役員、委員、各ブロックからの伝達及び情報交換をしています。そのあと部会内研修をしたいと思います。参加することで部会の在り方や他の地域での情報が良く分かるようになります。みなさまの参加をお待ちしています。詳細については連絡網でご連絡いたします。保健指導部会員で連絡の届かない方は事務所に一報ください。追って部会よりご連絡いたします。

世の中の変化、地域の変化、そして家庭の変化の激しい時代です。地域で母親や家族にかかわっている助産師は自己研鑽が大切です。新しい情報・知識を得て、地域の母親・家族に接して欲しいと考えます。

〈勤務助産師部会〉

部会長 総毛 薫

みなさまのご協力で、部会長として2年目を迎えることができました。ありがとうございます。

〈今年度の目標〉①勤務助産師部会の組織強化

②新人助産師、中堅助産師のキャリア発展

新しい職場に大きな希望と夢をもって入職された方々も肩に入っていた力が少しほぐれて周囲を落ち着いて見ることができる頃ではないでしょうか。また、年度が替わったということもあり、異動により今までとは違った職場で頑張っておられる方、職場は同じであっても新しい役割を頂いて職場に貢献されておられる方、一旦臨床の場を退いて家庭に入られて介護や育児などに携わっておられる方など様々だと思います。

助産師として目標をもって取り組み業務できることで、キャリアを重ねていると実感できるのは当然かもしれません。しかし、直接助産業務に関係がないように思える業務に就いたり、変化のない日々の業務を続けていたとしても、自分なりにその状況に意味づけができ価値を持たせることができれば、将来の「ありたい自分」を見つけ、目標に向かって取り組むことができるようになるのではないかと思います。

勤務部会としては、今年度も新人からベテラン助産師を対象とした3回の研修会を準備しました。助産師の方々が勤務地を越えて助産師同志の交流を図りながらエンパワーメントでき、さらに自分のキャリアをデザインするきっかけにして頂ければと考えています。今年度も宜しくお願い致します。

研修会レポート!

ベビーマッサージ講師育成研修

助産師特定研修 ベビーマッサージ講師育成研修（平成25年7月21日開催、1日コース）を取材してきました。講師は当会会員の坂田助産院 院長 坂田富貴子先生です。ベビーマッサージの基礎知識から始まり、実技では人形やお互いの腕でマッサージの実際を練習しました。また、クラスの企画・運営の実際について、坂田先生の豊富な経験談を聞くことができました。どれも、即実践してみよう！と思える内容でした。参加者は33人。県内はもとより、大阪や奈良からの参加者もあり、熱気あふれる研修会となりました。

（広報委員）



県内外からたくさんの参加がありました



お互いの腕でマッサージの強さを体験

このコーナーでは、皆さんに知っていただきたい最近の出来事や助産師会からのお知らせを紹介します。

〈日本助産師会より〉

1. ベビーベッドからの転落防止に関して

ベビーベッドからの転落事故が発生していることから、経済産業省製品安全課より保護者向けのベビーベッド転落注意喚起チラシ作成の案内と周知協力がありました。病院、助産院、地域等でできるだけ多くの保護者の方の目に止まるようご利用ください。チラシは下記リンクでもダウンロードして頂けます。皆様のご協力お願いいたします。

[http://www.midwife.or.jp/pdf/h25other/babybed\(MoE\).pdf](http://www.midwife.or.jp/pdf/h25other/babybed(MoE).pdf)

乳幼児用ベッドを使用する保護者の皆様へ
～安全に使用する上での注意事項～

乳幼児がベッドから転落する事故が発生しています。乳幼児用ベッドを安全に使用するために、保護者の皆様は、以下の点にご注意ください。

前枠(扉)を下げたまま目を離した際に寝返りして転落!
床板上段使用時

つかまり立ちをして柵を乗り越えて転落!
床板上段又は中段使用時

使用を終えたらすぐに前枠(扉)を元の位置に戻して下さい

つかまり立ちをしたら、(早ければ生後5ヶ月から)床板を最下段にして下さい!

25ヶ月以上の幼児が使用して乗り越えて転落!
床板下段使用時

乳幼児用ベッドの使用年齢は24ヶ月以内です

おもちゃや折り畳んだ布団などを足がかりにして転落!
足がかりとなる物を、ベッドの中に入れてください

経済産業省
nite 安心を築きつなぐナイトです。
株式会社 nite 製品評価技術基盤機構

乳幼児用ベッドの使用上の注意

① 前枠が開閉式やスライド式の乳幼児用ベッドは、前枠を下げたまま目を離すと、乳幼児が転落する危険があります。使用を終えたらすぐに、前枠を所定の位置に戻して下さい。

② 床板の位置を調整できるベッドは、乳幼児がつかまり立ちができるようになったら(早ければ生後5ヶ月から)、床板を最下段に置いて使用して下さい(床板・キャスターを外して、サークルとして使用する乳幼児用ベッドもあります。)

③ 乳幼児用ベッドは、生後24ヶ月以内の乳幼児が使用するものです。

④ 乳幼児がつかまり立ちできるようになったら(早ければ生後5ヶ月から)、足がかりとなる物をベッドの中に入れて下さい。

⑤ ベッドの支柱に、乳幼児の衣服のひも等が引っ掛かるといけないよう、注意して下さい。

⑥ 止め金具やねじ等を点検し、しっかりと締めつけた状態で使用して下さい。

⑦ マットレスや敷布団等は、本体との間にすき間があると危険ですので、必ず、すき間のないものを使用して下さい。

⑧ マットレスや敷布団等を使用する際は、乳幼児が容易に柵を乗り越えて落下する高さとならないように、注意して下さい。

乳幼児用ベッドは、「消費生活用製品安全法」の指定品目であり、安全基準を満たした製品には、PSCマークが貼られています。

製品安全ガイド 経済産業省 ホームページ
http://www.meti.go.jp/product_safety/ 製品安全ガイド

2. 平成 25 年度 近畿地区研修会のご案内

今回の研修会では、科学的根拠を明確にしながら助産診断・技術について考えます。多くの方に参加していただけるよう、開催日を土・日曜日にしました。みなさん、ぜひご参加ください!!

テーマ：「科学の目で助産しよう」

期 日：平成 25 年 10 月 19 日 (土)、20 日 (日)

会 場：京都府立医科大学広小路キャンパス

〒602-0857 京都市上京区精和院口寺町東入中御霊町 410

〈兵庫県助産師会より〉

1. 第3回 産科医療補償制度 再発防止に関する報告書 が公表されました

分析対象は、脳性小児麻痺事例 188 件で「数量的・疫学的分析」と「テーマについての分析」として臍帯脱出・常位胎盤早期剥離・子宮収縮剤・新生児蘇生・分娩中の胎児心拍数聴取の5つがなされています。日頃の妊産婦へのケアを見直す機会になるこの報告書は <http://www.sanka-hp.jcqh.or.jp> でぜひご覧ください。

2. 平成 25 年度 兵庫県母性衛生学会 総会・学術集会 が開催されました

平成 25 年 6 月 8 日（土）兵庫県医師会館にて、平成 25 年度兵庫県母性衛生学会総会ならびに学術集会が開催されました。

総会では、当会の岡田浩子会長が学会副会長に就任されました。学術集会では、思春期から子育て期まで、幅広いテーマで 17 題もの発表がありました。当会会員による演題発表も多数あり、充実した学会となりました。次年度も同時期に開催予定です。日々の皆様の活躍、臨床での知・技を発表する貴重な機会となりますので、皆様ふるってご参加ください。

3. 創立 80 周年記念誌「先人の技を未来につなぐ」発刊のお知らせ

平成 24 年 11 月に 80 周年記念式典が開催されました。

これを記念して、今後続く人達の為に 80 周年記念誌を作成しました。是非お手元に置いてご覧ください。購入された方からは、

「じっくり拝見し感激しました。」

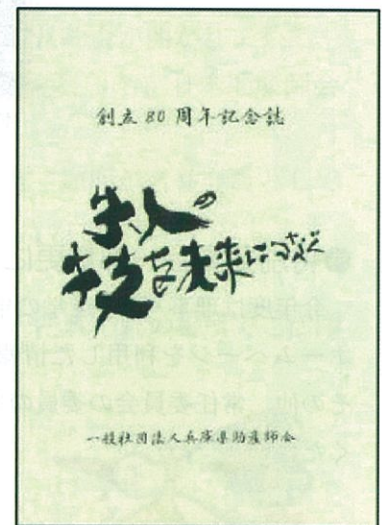
「祝辞の文面や先輩方のメッセージ等温かさの感じられる、味のある記念誌だと思います」という感想を頂いています。

購入方法：同封の FAX 用紙にてお申し込み下さい。

（HP でもご案内しています）

購入価格：一冊 2,000 円 + 送料 80 円（1 冊分）

※複数冊ご希望の方は事務所に送料をご確認ください。



4. 兵庫県助産師会のホームページをリニューアルしました！

5 月 1 日から当会の新しいホームページを公開していますが、ご覧になったでしょうか？

研修や入会、一般の方のベビーマッサージ・育児相談の参加申し込みなどもできるようになっています。

会員専用ページでは、理事会や委員会の動きもお伝えできるよう準備中です。

教育、安全、庶務、広報の理事が管理、運営主体となり、情報提供と迅速な更新を心がけていきますので、皆様どうぞご活用ください。

（組織強化委員）

新アドレス <http://hyogo-josanshikai.com>（スマートフォンでもご覧いただけます！）

特別企画！
教育の現場から
こんにちは

助産学概論の授業に先輩助産師の方々をお招きして

兵庫県立総合衛生学院 助産学科 教務主任 前川真由美

助産学の奥深さをどう伝え、助産師としてのアイデンティティをどう育てるか、毎年苦慮しながら助産学概論の授業に臨んでいるところです。

兵庫県助産師会には、戦前戦後の厳しい時代に助産師として生き抜き、助産に精通した 80 歳以上の助産師がなんと 25 人以上、今も大活躍しておられます。そこで今回、授業にその先輩助産師の方々をお招きし、助産を語っていただきました。助産師としての誇り、信念、使命感あふれるパワフルな語りに、学生は圧倒され感銘を受けていました。これは私たち教員には語ることでできないものでした。

1年後の学生たちの成長が楽しみです。4名の助産師の皆様、遠いところからお越しいたごき、本当にありがとうございました。そして、今後とも助産師教育へのご協力をよろしくお願ひいたします。



本玉みゑ子様 和田さかゑ様 稲垣よしゑ様 吉岡笑子様

●特別委員会一部変更について●

今年度は理事・監事選挙の年となります。それに伴い、特別委員会に選挙管理委員会が発足しました。また、ホームページを利用した情報提供の充実、新会員の増加を目的として組織強化委員会が発足しました。その他、常任委員会の委員の変更もありました。詳しくは、平成 25 年度定時総会資料、ホームページをご覧ください。

●助産師会事務所からお知らせ●

今年度より事務が 1 人体制になり、勤務時間も変更しました。皆様のご理解ご協力よろしくお願ひします。

事務員勤務時間：月～金曜日 9:30～16:00

会員総数 332 人（平成 25 年 6 月 30 日 現在）

新規会員募集中!!（まだ入会されていない方に入会をお勧めください）

編集後記

数年ぶりの暑さきびしい夏、いかがお過ごしでしょうか。このとり通信 3 号をお届けします。今回は連絡事項の他に教育現場からの記事もあり、お楽しみいただけたのではないかと思います。発行にあたってご協力いただいた皆様、ありがとうございました。助産師活動にお役に立てていただけますよう広報委員一同 願っています。

広報委員長 赤川由美